

めぐみ通信

Vol. 6-2

2012. 7月



羽衣幼稚園・羽衣保育所両方を

たった15分の会議で廃止決定！

平成24年度第1回高石市行財政改革推進本部会議 会議録

1. 日時 平成24年5月30日(水) 午前12時20分~12時35分

2. 場所 庁議室

3. 出席者(委員)

阪口市長(本部長)、三浦副市長、芝原副市長、佐野教育長、宮下政策推進部長、池永政策推進部理事、中井総務部長、浅井保健福祉部長、木寄土木部長、田野教育部長、福村議会事務局長

(案件1 担当課) 教育総務課

(案件2 担当課) 子育て支援課

上の資料を見てください。これは、羽衣幼稚園の廃止と羽衣保育所の廃止・民営化が同時に決定された会議の記録です。



こんな重要なことが、たったの15分間で決定されたのです！！

市の幹部が全員そろって、市民生活に、しかも子どもの達の生活に直結するこのような重大な内容をたった15分間で決定するとは、いったい阪口市長の行政運営はどうなっているのでしょうか。

さらに副市長が、国から1人・府から1人と2人もいながら、どちらもこの会議に異論をはさまなかったのか。質疑応答などの突っ込んだ議論がなかったのか。少しでも議論があれば15分では終了しないはず。…大きな疑問を感じます。

高石市議会平成24年第2回定例会（6月議会）が終了しました。会期は6月7日から6月14日までの実質6日間でした。

議案 10 件、報告 3 件、請願 1 件でした。

請願は、羽衣幼稚園の廃園の凍結に関する署名でした。私は紹介議員として請願が審議される総務文教委員会で趣旨説明を行い、他の議員からの質問を待ちました。

しかし、どなたからも質問はありません。「質問がないということは、賛成してもらえるのか。」と思っていたら、賛成はクリア高石 2 名と共産党 2 名だけ。

たった5日間という短期間に5434筆もの署名を集められた保護者の方々からは「反対するならせめて理由を明らかにして頂きたい」という声が聞かれました。

羽衣幼稚園の廃園は、本当に突然の話でした。北幼稚園への通園路には踏切もあり、工事のダンプカーが多く通ります。せめて南海線が高架になるまで廃園しないでほしい、と保護者の方々が要望されるのは当然です。子ども達の命を守ることなのですから。

しかし、その声も聞かず高石市は、ブランド戦略などといって・・・

- ◆伽羅橋の高架下にスイーツ街を作る
- ◆天女のキャラクター作りをコンサルタント会社に50万円出して依頼する
- ◆伽羅橋駅と高師浜駅に無料のレンタサイクルを置く

などに多くのお金を使っています。しかし、こんなことでブランド化できるとは思えません。

そんなことよりも、幼稚園や保育所を大切にすることこそがブランドになるのではないのでしょうか。現在の高石市のように子どもの施策を切り捨てる市に人は集まりません。

阪口市長が初当選したのは平成 15 年でした。それからの人口推移は…

平成 15 年度	総人口	0 歳～9 歳
(平成 16 年 1 月)	61,952 人	6,643 人

平成 24 年度		
(平成 24 年 6 月)	59,390 人	5,411 人

となっており、人口は 2,562 人減り、0 歳～9 歳までの子どもは 1,232 人減っています。

子ども達を大切にしない高石市では、

これからの人口増も望めないと思います！

WEB サイトもご覧ください

<http://yamashikimegumi.com/>

クリア高石の議会報告会を行います。是非お越し下さい！！(羽衣 18 時より、とろしプラザ 19 時より。)

◆7 月 19 日(木)パンセ羽衣

◆7 月 20 日(金)とろしプラザ

発行：山敷めぐみ

高石市羽衣 5-14-13

072-262-3979

yam4-meg3@ezweb.ne.jp

-2 (事務所を移転しました。電話が使えるのは 8 月中旬からです。)